

Ⅲ 研究ノート Ⅲ

大学生の消費行動調査（平成19年度調査） ～単純集計結果報告書～

柳 田 卓 爾

【目次】

I. 調査概要

1. 調査の目的
2. 調査の概要
 - (1) 調査対象
 - (2) 調査方法
 - (3) 研究費
3. 質問票

II. 調査結果の概要

III. 単純集計結果

1. 回答者の属性
2. 現金収入の状況
3. 支出, 消費行動の状況

I. 調査概要

1. 調査の目的

光熱費等の公共料金や家賃, 代表的な電気製品に関して, 大学生の消費行動の側面を明らかにすることを目的とする。

2. 調査の概要

光熱費等の公共料金や家賃, 代表的な電気製品に関して, 大学生を対象に

調査を行った。下宿生については、その所有状況と支払主が誰であるか、また、自宅生については所有者意識も含めて、調査を行った。

(1) 調査対象

西南学院大学、山口大学において、筆者が講義を担当している科目「商品学」の受講生諸氏の協力を得て、調査を実施することができた。

内訳	西南学院大学	120名
	山口大学	209名
	合計	329名

(2) 調査方法

調査日

2008年1月15日(火) 西南学院大学

2008年1月17日(木) 山口大学

質問票の配布・回収等

西南学院大学、山口大学ともに、筆者が配布、立会い、回収を行った。また、家電製品の項目は、全国消費実態調査の項目名を参考にした。

(3) 研究費

平成19～21年度科学研究費補助金(課題番号19653031)による研究成果の一部である。

3. 質問票

研究ノート末尾を参照。

Ⅱ．調査結果の概要

支出、消費行動の状況の分析のみ、調査結果の概要を記載する。

公共サービスの支払主は誰かを質問することによって、日々の生活に不可欠な生活インフラの維持・確保を、自分自身でやりくりしているのかどうかを分析しようとしている。

- 電気、ガス、水道やIPS(インターネット・プロバイダ・サービス)料金については、3割から4割近くの一人暮らし学生が、自分の1ヶ月の現金収入から支払うのではなく、親の銀行口座からの引き落としなどによって支払ってもらっている。
- 本人の携帯電話の通信・通話料について、一人暮らし学生の78.6%、自宅生の68.8%は、自分の1ヶ月の現金収入から支払うのではなく、親の銀行口座からの引き落としなどによって支払ってもらっている。

家電製品の支払主は誰かを質問することによって、生活に必要な家電製品を、誰の資金によって準備しているのかを分析しようとしている。自宅生の場合、家族との共有である可能性が高いため、その家電製品が自分のものであると家族みんなが思っているかどうかを質問し、本人の所有であると認識されているものに関して、その支払主が誰かを分析できるようにしている。

- 冷蔵庫、洗濯機、パソコンなど、日常生活や勉強に不可欠なもの(≒必需品)については、親が支払主である割合が、一人暮らし学生の70～80%を占めている。デジタルカメラ、携帯型音楽プレーヤーなど、娯楽的要素が強いと思われる製品(≒贅沢品)については、自分自身で購入していると回答している一人暮らし学生が、60%後半から90%近くの割合を占めている。
- 携帯電話に関しては、一人暮らし学生の52.6%が、自分で購入したと回

答している。携帯電話は、必需品と贅沢品の特質を併せ持った、中間的な製品ということなのかもしれない。

- 自宅生に関して、携帯電話(96.2%)や携帯型音楽プレーヤー(84.6%)と
いった、個人使用が中心と思われる製品は、家族みんながあなたのもの
だと思っている割合が高くなっている。冷蔵庫(0%)、洗濯機(0%)、ルー
ムエアコン(8.9%)など、家族内での公共財と見なせるような製品につ
いては、その割合は低い。
- デジタルカメラ(73.2%)、携帯型音楽プレーヤー(72.0%)など、娯乐的
要素が強いと思われる製品については、家族みんながあなたのものだと
思っていると回答したサンプルに占める支払主が「あなた」である割合が、
高くなっている。

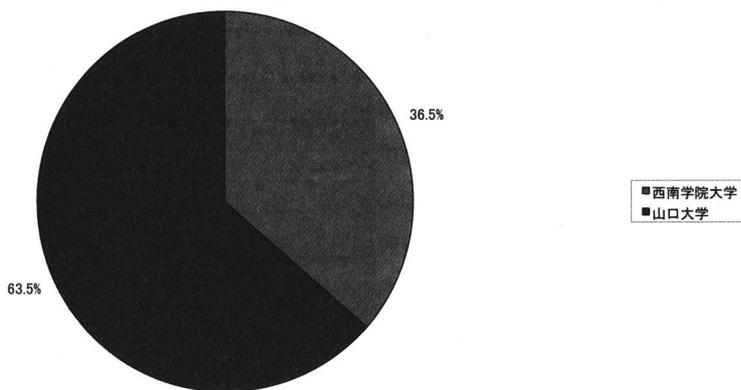
なお、文中に記載されているデータ(誰が支払主であるかに関する割合)は、
有効サンプル数から該当する製品やサービスを利用していない人、持ってい
ない人を除いた度数を分母としたパーセンテージである。

Ⅲ. 単純集計結果

1. 回答者の属性

1-0. 大学別のサンプル数について。

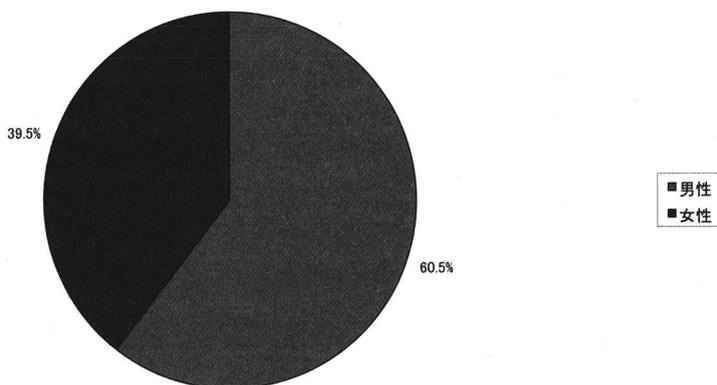
図表1 大学 n=329



今回の調査の大学別サンプル数は、西南学院大学が全体の36.5% (120人)、山口大学が63.5% (209人)である。総サンプル数は329人である。

1-1. あなたの、性別をお答えください。

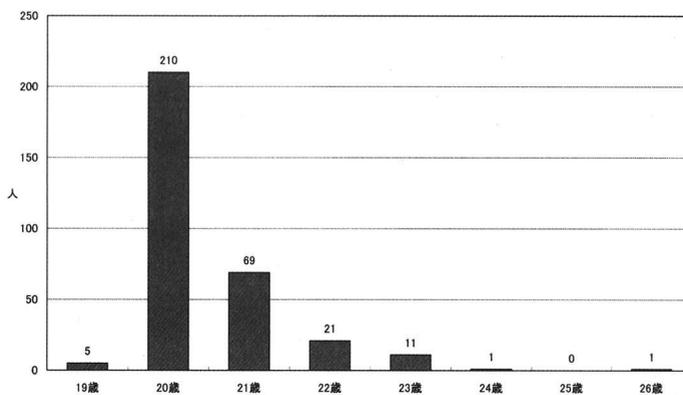
図表2 性別 n=319



欠損値を除いたサンプル全体に占める男性の比率は60.5% (193人)、女性の比率は39.5% (126人)であった。

1-2. あなたの、年齢をお答えください。(2008(平成20)年4月1日時点での年齢をお答えください。)

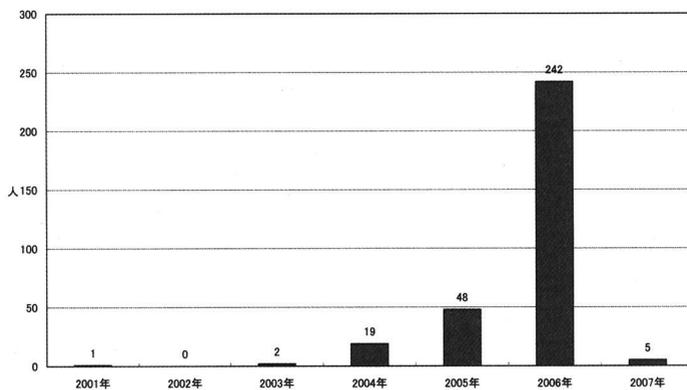
図表3 年齢 n=318



20歳と回答した学生が210人で最頻値、欠損値を除いたサンプル全体に占める比率は66%である。以下、21歳が69人(21.7%)、22歳が21人(6.6%)、23歳が11人(3.5%)、24歳と26歳が1人(0.3%)ずつである。19歳は、5人(1.6%)である。25歳は、サンプルにはいなかった。

1-3. あなたの、大学への入学年をお答えください。

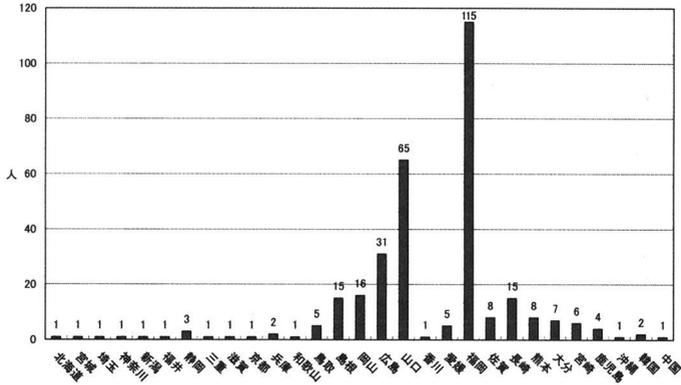
図表4 大学入学年度 n=317



2006年入学が最頻値で、242人である。欠損値を除くサンプル全体に占める比率は76.3%である。2001年入学が1人(0.3%)、2003年入学が2人(0.6%)、2004年入学が19人(6%)、2005年入学が48人(15.1%)である。2007年入学は5人(1.6%)である。図表3および図表4から、今回のサンプルの多くは、2年生であることがわかる。

1-4. あなたの、出身都道府県をお答えください。

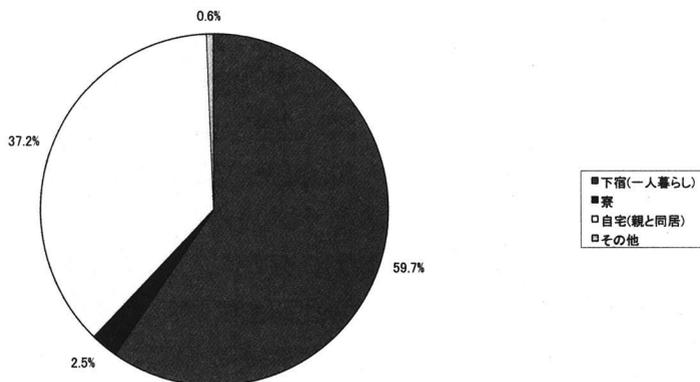
図表 5 出身都道府県 n=320



出身都道府県の最頻値は、福岡の115人である。欠損値を除くサンプル全体に占める比率は、35.9%である。山口の65人(20.3%)、広島の31人(9.7%)と続く。福岡、山口、広島が、上位3県である。岡山16人(5%)、島根15人(4.7%)、長崎15人(4.7%)の3県は、10人以上の回答者がいる。中国地方(鳥取、島根、岡山、広島、山口)、九州・沖縄地方(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)は、全ての県出身の回答者がサンプルに含まれている。

1-5. あなたの、住居についてお答えください。

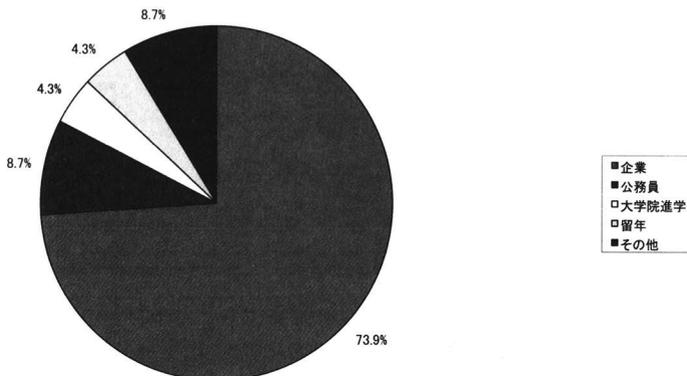
図表 5 住居形態 n=320



下宿にて一人暮らしをしている学生が最も多く、欠損値を除いたサンプル全体の59.7% (191人) を占めている。寮生は少なく、全体の2.5% (8人) である。自宅生は、37.2% (119人) である。

1-6. 2004(平成16)年に大学入学,あるいはそれ以前に大学入学された方にお聞きします。2008(平成20)年4月以降の進路について,お答えください。

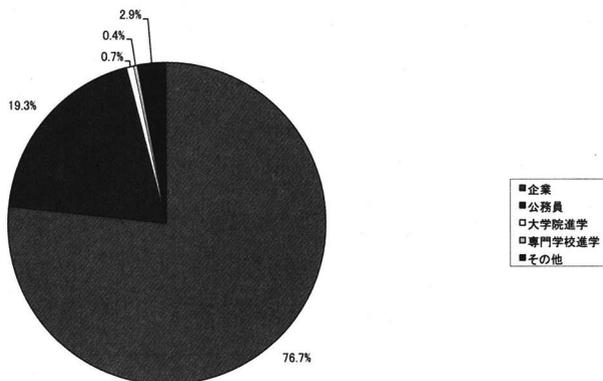
図表7 2008年4月以降の進路 n=23



4回生の進路について,企業に就職する学生が,欠損値を除くサンプル全体の73.9%(17人)を占めている。公務員が8.7%(2人),大学院進学が4.3%(1人)である。留年する者は,4.3%(1人)である。ただし,4回生のサンプル数は23人と少ない。

1-7. 2005(平成17)年, 2006(平成18)年, 2007(平成19)年に大学入学された方にお聞きます。大学卒業後の, 希望進路をお答えください。

図表 8 大学卒業後の希望進路 n=275



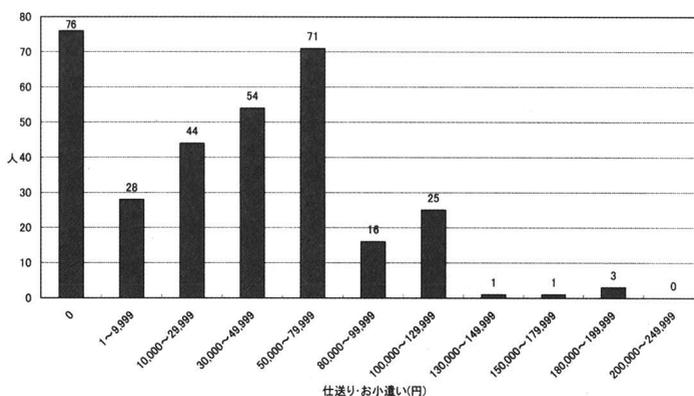
3回生以下の学生について, 企業への就職を希望する者は, 欠損値を除くサンプル全体の76.7%(211人)である。公務員志望は19.3%(53人), 大学院進学は0.7%(2人), 専門学校進学は0.4%(1人)である。

2. 現金収入の状況

あなたの現金収入の状況についてお聞きます。過去1年間(2007(平成19)年1月から12月)を振り返ったときの, 1ヶ月あたりの平均的な金額をお答えください。

2-1. 両親・親戚などからの仕送り，お小遣いの金額は，1ヶ月あたりだいたいどのくらいですか。

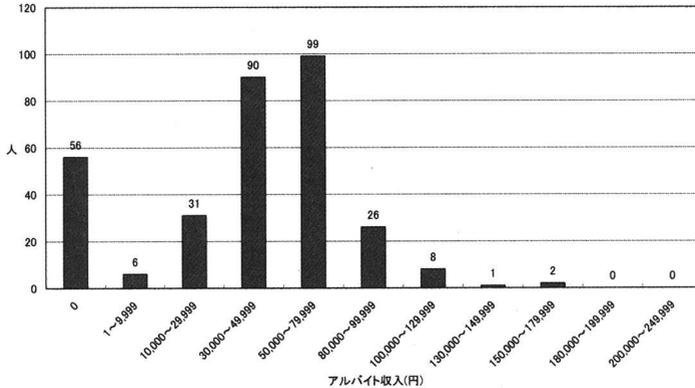
図表9 仕送り・お小遣い(1ヶ月) n=319



1ヶ月あたりの仕送り・お小遣いの最頻値は，0円である。欠損値を除くサンプル全体の23.8%(76人)を占めている。2番目に多いのは，50,000~79,999円である。欠損値を除くサンプル全体の22.3%(71人)を占めている。180,000~199,999円と，かなり高額と思われる仕送り・お小遣いをもらっている学生も，0.9%(3人)いる。80,000円未満までの学生が欠損値を除くサンプル全体に占める累積パーセントは85.6%(273人)である。100,000円未満までの累積パーセントが90.6%(289人)である。

2-2. アルバイトからの収入の金額は、1ヶ月あたりだいたいどのくらいですか。

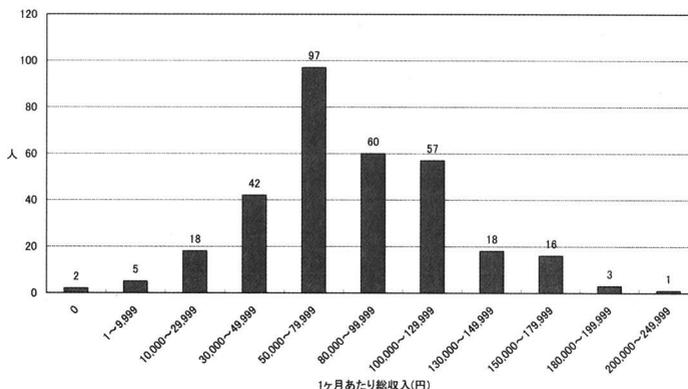
図表10 アルバイト収入(1ヶ月) n=319



1ヶ月あたりアルバイト収入の最頻値は、50,000～79,999円である。欠損値を除くサンプル全体の31% (99人)を占めている。150,000～179,999円と、かなりの金額を稼いでいる学生も0.6% (2人)いる。100,000円以上稼いでいる学生となると、3.4% (11人)である。反対に、アルバイト収入の全くない学生は、17.6% (56人)を占めている。80,000円未満までの学生が欠損値を除くサンプル全体に占める累積パーセントは88.4% (282人)である。100,000円未満までの累積パーセントが96.6% (308人)である。

2-3. 仕送り、お小遣い、アルバイトからの収入をすべて含めると、1ヶ月あたりのあなたの総収入は、だいたいどのくらいですか。

図表11 1ヶ月あたり総収入 n=319



1ヶ月あたり総収入の最頻値は、50,000～79,999円である。欠損値を除くサンプル全体の30.4%(97人)を占めている。200,000～249,999円のカテゴリーが最大値であり、0.3%(1人)であった。反対に、総収入が0円だと回答している学生が0.6%(2人)いた。80,000円未満までの学生が欠損値を除くサンプル全体に占める累積パーセントは51.4%(164人)である。累積パーセントが90%を越えるのは、150,000円未満である。全体の93.7%(299人)である。

3. 支出, 消費行動の状況

3-1. 上記1-5で1. 下宿, 2. 寮 にお住まいと回答された方にお聞きします。

あなたが下宿・寮で利用している公共サービスなどの料金は、誰が支払っていますか。

図表12 公共サービスなどの支払主（下宿・寮）

	あなた	親	その他	利用していない	合計
電気	61.4%(121) 61.7%	37.1%(73) 37.2%	1.0%(2) 1.0%	0.5%(1)	100%(197)
ガス	60.4%(119) 63.0%	34.5%(68) 36.0%	1.0%(2) 1.1%	4.1%(8)	100%(197)
水道	59.2%(116) 59.8%	38.3%(75) 38.7%	1.5%(3) 1.5%	1.0%(2)	100%(196)
IPS	55.1%(108) 60.7%	33.7%(66) 37.1%	2.0%(4) 2.2%	9.2%(18)	100%(196)
固定電話通話料	2.1%(4) 15.4%	11.5%(22) 84.6%	0.0%(0) 0.0%	86.4%(165)	100%(191)
あなたの携帯電話の通信・通話料	20.9%(41) 20.9%	78.6%(154) 78.6%	0.5%(1) 0.5%	0.0%(0)	100%(196)
家賃（寮費）	42.1%(83) 42.1%	56.9%(112) 56.9%	1.0%(2) 1.0%	0.0%(0)	100%(197)

注）上段は有効数に占める割合、下段は利用している人に占める割合。（ ）内は度数。

いわゆる一人暮らしをしている学生の全員が、光熱費や家賃などを、自身でやりくりをして支払っているわけではない。電気、ガス、水道やIPS（インターネット・プロバイダ・サービス）料金については、3割から4割近くの一人暮らし学生が、自分の1ヶ月の現金収入から支払うのではなく、親の銀行口座からの引き落としなどによって支払ってもらっている。家賃は56.9%（112人）、携帯電話の通信・通話料に関しては、78.6%（154人）が、同様に、親に支払ってもらっている。また、携帯電話は有効サンプルの全員が所有しており、86.4%（165人）が固定電話を利用していない。

文中に記載されているデータ（誰が支払主であるかに関する割合）は、特に注意書きのない限り、有効サンプル数から該当する製品やサービスを利用していない人、持っていない人を除いた度数を分母としたパーセンテージ（各セルの下段に記載）である。また、利用していない人、持っていない人の割合は、有効サンプル数を分母とした値である。所有率は、1－（利用していない人、持っていない人の割合）である。以下、同じ。

3-2. 現在、あなたが下宿で使用している製品に関してお聞きします。表3-2にある①から⑳までの製品を、誰のお金で購入しましたか。

図表13 家電製品の支払主（下宿・寮）

	あなた	親	その他	はじめから 下宿・寮に 設置	持って いない	合計
冷蔵庫	4.6%(9) 4.6%	78.6%(154) 79.0%	8.7%(17) 8.7%	7.7%(15) 7.7%	0.5%(1)	100%(196)
洗濯機	3.1%(6) 3.1%	73%(143) 74.1%	6.1%(12) 6.2%	16.3%(32) 16.6%	1.5%(3)	100%(196)
ルームエアコン	0.0%(0) 0.0%	10.2%(20) 10.6%	0.5%(1) 0.5%	85.7%(168) 88.9%	3.6%(7)	100%(196)
ブラウン管テレビ	6.2%(12) 9.2%	47.2%(92) 70.8%	9.2%(18) 13.8%	4.1%(8) 6.2%	33.3%(65)	100%(195)
液晶テレビ	2.6%(5) 8.9%	24.5%(47) 83.9%	1.6%(3) 5.4%	0.5%(1) 1.8%	70.8%(136)	100%(192)
プラズマテレビ	0.5%(1) 11.1%	3.6%(7) 77.8%	0.0%(0) 0.0%	0.5%(1) 11.1%	95.3%(184)	100%(193)
その他のテレビ	0.5%(1) 12.5%	2.6%(5) 62.5%	1.0%(2) 25.0%	0.0%(0) 0.0%	95.8%(183)	100%(191)
DVD レコーダー	8.2%(16) 29.6%	16.5%(32) 59.3%	2.6%(5) 9.3%	0.5%(1) 1.9%	72.2%(140)	100%(194)
ビデオテープレコーダー	6.7%(13) 22.0%	17.4%(34) 57.6%	4.6%(9) 15.3%	1.5%(3) 5.1%	69.7%(136)	100%(195)
ハードディスク型レコーダー	2.6%(5) 21.7%	8.8%(17) 73.9%	0.0%(0) 0.0%	0.5%(1) 4.3%	88.1%(170)	100%(193)
デジタルカメラ	31.6%(62) 68.1%	13.3%(26) 28.6%	1.0%(2) 2.2%	0.5%(1) 1.1%	53.6%(105)	100%(196)
パソコン	9.8%(19) 10.1%	85.1%(165) 87.3%	2.6%(5) 2.6%	0.0%(0) 0.0%	2.6%(5)	100%(194)
携帯電話（PHS含む） 本体	52.6%(103) 52.6%	46.4%(91) 46.4%	1.0%(2) 1.0%	0.0%(0) 0.0%	0.0%(0)	100%(196)
電気掃除機	5.8%(11) 6.5%	75.3%(143) 84.1%	6.3%(12) 7.1%	2.1%(4) 2.4%	10.5%(20)	100%(190)
自動炊飯器	7.9%(15) 8.2%	78.4%(149) 81.4%	9.5%(18) 9.8%	0.5%(1) 0.5%	3.7%(7)	100%(190)
電子レンジ（電子オーブンレンジを含む）	5.3%(10) 5.4%	76.8%(146) 78.5%	9.5%(18) 9.7%	6.3%(12) 6.5%	2.1%(4)	100%(190)
ステレオセット又はCD・MDラジオカセット	36.3%(69) 45.4%	36.8%(70) 46.1%	6.8%(13) 8.6%	0.0%(0) 0.0%	20.0%(38)	100%(190)
携帯型音楽プレーヤー（ipodなど）	49.7%(94) 71.8%	14.8%(28) 21.4%	4.8%(9) 6.9%	0.0%(0) 0.0%	30.7%(58)	100%(189)
ゲーム機（据置タイプ、PS3、Wiiなど）	47.6%(90) 78.3%	9.0%(17) 14.8%	4.2%(8) 7.0%	0.0%(0) 0.0%	39.2%(74)	100%(189)
携帯型ゲーム機（PSP、ニンテンドーDSなど）	41.5%(78) 89.7%	2.1%(4) 4.6%	2.7%(5) 5.7%	0.0%(0) 0.0%	53.7%(101)	100%(188)

注) 上段は有効数に占める割合、下段は持っている人に占める割合。()内は度数。

冷蔵庫、洗濯機、電気掃除機、自動炊飯器、電子レンジといった、日常生活に不可欠と思われる電気製品に関しては、どれも70%以上の割合で、親が購入している。また、パソコンは87.3%（165人）の学生が、親に購入してもらっている。大学での学習や就職活動などでの必要性を、親が認識している様子が伺える。上記製品のみではなく、テレビやビデオといった製品も、親が購入している割合が50%後半から70%を占めている。ルームエアコンに関しては、下宿や寮に設置してある割合が、90%近くを占めている。

その一方で、携帯電話は、半数以上の52.6%（103人）の学生が、自分自身で購入している。親に購入してもらった割合は46.4%（91人）である。

デジタルカメラ、携帯型音楽プレーヤー、据置タイプのゲーム機、携帯型ゲーム機といった娯楽的要素が強いと思われるものに関しては、持っていないと回答している割合が、30～50%程度見られる。冷蔵庫、洗濯機、電気掃除機、自動炊飯器、電子レンジといった、日常生活に不可欠と思われる電気製品を持っていないと回答している割合が10%程度か、それ以下であるのと同対照的である。上記のような娯楽的要素の強い製品に関しては、60%後半から90%近くが、自分が支払主であると回答している。日常生活や勉強に必要なもの（≒必需品）には親がお金を出すのが、娯乐的なもの（≒贅沢品）は自分自身で購入するという傾向が見てとれる。この見方によると、携帯電話は、必需品と贅沢品の特質を併せ持った、中間的な製品ということになる。

3-3. 上記1-5で、3. 自宅（親と同居）にお住まいと回答された方にお聞きします。

自宅の公共サービスなどの料金は、誰が支払っていますか。

図表14 公共サービスなどの支払主 (自宅生)

	あなた	親	その他	利用していない	合計
電気	0.9%(1) 0.9%	97.3%(107) 97.3%	1.8%(2) 1.8%	0.0%(0)	100%(110)
ガス	0.9%(1) 0.9%	97.3%(107) 98.2%	0.9%(1) 0.9%	0.9%(1)	100%(110)
水道	0.9%(1) 0.9%	96.4%(106) 97.2%	1.8%(2) 1.8%	0.9%(1)	100%(110)
IPS	2.8%(3) 2.8%	94.5%(103) 96.3%	0.9%(1) 0.9%	1.8%(2)	100%(109)
固定電話通話料	1.8%(2) 1.9%	92.7%(102) 96.2%	1.8%(2) 1.9%	3.6%(4)	100%(110)
あなたの携帯電話の通信・通話料	31.2%(34) 31.2%	68.8%(75) 68.8%	0.0%(0) 0.0%	0.0%(0)	100%(109)
家賃(寮費)	0.0%(0)	55.5%(61)	0.9%(1)	43.6%(48)	100%(110)

注) 上段は有効数に占める割合、下段は利用している人に占める割合。() 内は度数。

いわゆる自宅生の場合、電気、ガス、水道といった光熱費やIPS、固定電話の支払いは、9割以上が親である。ガスを利用していないとの回答は0.9%と非常に低い。オール電化の普及が、今回のサンプルでは、進んでいないのかもしれない。インターネット接続を利用していない割合は1.8%と低く、普及が進んでいる様子が伺える。携帯電話の通信・通話料に関しては、31.2%(34人)が自分自身で、残りの68.8%(75人)は親が支払っている。一人暮らし学生の方が、親に支払ってもらっている割合が10%程度高くなっている。

一人暮らしの8割以上は固定電話を利用していなかったが、自宅生の自宅では、9割以上が固定電話を利用している。また、自宅生の4割程度が持家である。

- 3-4-1. 現在、あなたが自宅で使用している製品についてお聞きします。①から⑳それぞれの製品を、同居している家族みんなは誰のものだと考えていると思われますか。

図表15 家電製品の所有者意識（自宅生）

	あなたのものだ と思っている	あなたのものだ とっていない	持っていない	合計
冷蔵庫	0.0% (0) 0.0%	100% (105) 100%	0.0% (0)	100% (105)
洗濯機	0.0% (0) 0.0%	100% (105) 100%	0.0% (0)	100% (105)
ルームエアコン	8.7% (9) 8.9%	88.5% (92) 91.1%	2.9% (3)	100% (104)
ブラウン管テレビ	9.5% (10) 11.0%	77.1% (81) 89.0%	13.3% (14)	100% (105)
液晶テレビ	7.8% (8) 11.3%	61.2% (63) 88.7%	31.1% (32)	100% (103)
プラズマテレビ	0.0% (0) 0.0%	37.6% (38) 100%	62.4% (63)	100% (101)
その他のテレビ	2.0% (2) 4.3%	44.1% (45) 95.7%	53.9% (55)	100% (102)
DVD レコーダー	9.6% (10) 12.8%	65.4% (68) 87.2%	25.0% (26)	100% (104)
ビデオテープレコーダー	5.8% (6) 6.8%	78.8% (82) 93.2%	15.4% (16)	100% (104)
ハードディスク型レコーダー	2.0% (2) 3.3%	58.6% (58) 96.7%	39.4% (39)	100% (99)
デジタルカメラ	39.6% (42) 41.2%	56.6% (60) 58.8%	3.8% (4)	100% (106)
パソコン	41.3% (43) 41.7%	57.7% (60) 58.3%	1.0% (1)	100% (104)
携帯電話（PHS 含む） 本体	96.2% (101) 96.2%	3.8% (4) 3.8%	0.0% (0)	100% (105)
電気掃除機	1.0% (1) 1.0%	98.1% (102) 99.0%	1.0% (1)	100% (104)
自動炊飯器	0.0% (0) 0.0%	99.0% (102) 100%	1.0% (1)	100% (103)
電子レンジ（電子オーブンレンジを含む）	0.0% (0) 0.0%	99.0% (102) 100%	1.0% (1)	100% (103)
ステレオセット又は CD・MD ラジオカセット	61.3% (65) 63.1%	35.8% (38) 36.9%	2.8% (3)	100% (106)
携帯型音楽プレーヤー（ipod など）	72.6% (77) 84.6%	13.2% (14) 15.4%	14.2% (15)	100% (106)
ゲーム機（据置タイプ、PS3、Wii など）	42.5% (45) 54.2%	35.8% (38) 45.8%	21.7% (23)	100% (106)
携帯型ゲーム機（PSP、ニンテンドー DS など）	35.8% (38) 52.1%	33.0% (35) 47.9%	31.1% (33)	100% (106)

注）上段は有効数に占める割合、下段は持っている人に占める割合。（ ）内は度数。

自宅生に関しては、代表的な電気製品の所有者意識を回答してもらっている。すなわち、自宅にある電気製品が、あなたのものだと家族みんなが思っているのか否か、を質問している。合わせて、質問3-4-2から、該当製品を持っていないと回答した割合も併記している。

冷蔵庫と洗濯機は、あなたのものだと家族のみんなが思っていない割合が100%である。反対に携帯電話 (PHS 含む) 本体は、96.2%が、あなたのものだと家族みんなが思っていると回答している。携帯電話 (PHS 含む) は、個人財産であるとの意識が非常に強い製品であることが同える。テレビやビデオ関係の製品に関しては、自宅生の8割後半から9割以上が、あなたのものであると家族みんなが思っていないと回答している。これらは、共有であるか、親のものであると家族みんなが思っている可能性を示唆している。冷蔵庫、洗濯機、ルームエアコン、電気掃除機、自動炊飯器、電子レンジに関しても、同様である。

液晶テレビは7割近くの自宅生の家庭が所有している一方、プラズマテレビは40%に達していない。ハードディスク型レコーダーは、今回の有効サンプルでは、6割程度の普及率である。デジタルカメラやパソコンは、9割以上の自宅生の家庭が所有している。

その他、ステレオセット又はCD・MD ラジオカセット (63.1%)、携帯型音楽プレーヤー (84.6%) といった、個人使用が主だと思われる製品に関しては、あなたのものだと家族のみんなが思っている割合が高い。一方、娯楽的要素の強いと思われる製品であっても、家族での共用が可能だと思われるデジタルカメラ (41.2%)、パソコン (41.7%)、ゲーム機 (54.2%)、携帯型ゲーム機 (52.1%) などは、ステレオセット又はCD・MD ラジオカセットや携帯型音楽プレーヤーと比べると、あなたのものだと家族のみんなが思っている割合が低くなっている。

3-4-2. 3-4-1. で「はい」に○をした製品について、誰のお金で購入しましたか。該当する番号に○を付けてください。

図表16 家電製品の支払主（自宅生）
家族みんながあなたのものだと思っている製品に関して

	あなた	親	その他	合計
冷蔵庫	—	—	—	—
洗濯機	—	—	—	—
ルームエアコン	0.0% (0)	100.0% (9)	0.0% (0)	100% (9)
ブラウン管テレビ	30.0% (3)	50.0% (5)	20.0% (2)	100% (10)
液晶テレビ	37.5% (3)	62.5% (5)	0.0% (0)	100% (8)
プラズマテレビ	—	—	—	—
その他のテレビ	50.0% (1)	0.0% (0)	50.0% (1)	100% (2)
DVD レコーダー	50.0% (5)	40.0% (4)	10.0% (1)	100% (10)
ビデオテープレコーダー	16.7% (1)	66.7% (4)	16.7% (1)	100% (6)
ハードディスク型レコーダー	100.0% (2)	0.0% (0)	0.0% (0)	100% (2)
デジタルカメラ	73.2% (30)	22.0% (9)	4.9% (2)	100% (41)
パソコン	38.1% (16)	61.9% (26)	0.0% (0)	100% (42)
携帯電話（PHS 含む）本体	66.7% (66)	33.3% (33)	0.0% (0)	100% (99)
電気掃除機	0.0% (0)	100.0% (1)	0.0% (0)	100% (1)
自動炊飯器	—	—	—	—
電子レンジ（電子オーブンレンジを含む）	—	—	—	—
ステレオセット又は CD・MD ラジオカセット	55.6% (35)	42.9% (27)	1.6% (1)	100% (63)
携帯型音楽プレーヤー（ipod など）	72.0% (54)	21.3% (16)	6.7% (5)	100% (75)
ゲーム機（据置タイプ、PS3、Wii など）	76.7% (33)	18.6% (8)	4.7% (2)	100% (43)
携帯型ゲーム機（PSP、ニンテンドー DS など）	86.5% (32)	8.1% (3)	5.4% (2)	100% (37)

注）（ ）内は度数。

自宅生に関しては、家族みんながあなたのものだと思っている製品の支払主が誰であるのかを分析できる。有効サンプルが一桁のものが多い中、いくつかの製品に関しては、興味深いデータが見られる。デジタルカメラ（73.2%）、携帯型音楽プレーヤー（72.0%）、ゲーム機（76.7%）、携帯型ゲーム機（86.5%）といった娯楽的なものに関しては、自分自身が支払主である比率が高く、その水準は一人暮らしの学生と同程度である。一方、携帯電話（66.7%）とパソコン（38.1%）に関しては、一人暮らしに比べて、自分自身で購入している比率が高くなっている。日常生活や勉強に必要であっても、金銭的負担が一人暮らしの生活よりも軽いため、親ではなく自分自身で購入しているということなのかもしれない。（以上）

大学生の消費行動調査

平成 19 年度調査

柳田卓爾(山口大学経済学部准教授)

本調査は、みなさまの消費行動の実態を統計的に明らかにすることを目的として行う研究調査です。

本調査から知り得た情報は統計的な処理を施しますので、個人が特定されることは一切ありません。また、上記の目的以外に利用することはありません。安心して、ご回答ください。

本調査は、平成 19 年度科学研究費補助金(課題番号 19653031)を受けて実施しています。

☆☆☆ 回答方法のご説明 ☆☆☆

この質問票は、全部で8ページ(表紙を含む)あります。それぞれの質問文を読み、選択肢から適切なものと思われる項目を選び、直接○をつけてください。以下では、この質問票の回答方法について、ご説明いたします。最初に必ずご一読ください。

<回答例 1> 通常のパターン: 質問文を読み、選択肢の番号に直接○をつけてください。

1-1. あなたの、性別をお答えください。

- ① 男性 2. 女性

<回答例 2> 表形式の質問への回答方法

※回答方法注意!

説明: ①~④までの公共サービスなどの料金を支払っているのは誰ですか。最上段の選択肢(1.~4.)から選び、各行に○をつけてください。

誰が?	1. あなた	2. 親	3. その他	4. 利用して いない
① 電気	1	②	3	4
② ガス	1	②	3	4
③ 固定電話の通話料	1	2	3	④
④ あなたの携帯電話の 通信・通話料	①	2	3	4

<回答例 3> 記述回答欄への回答方法

回答欄におさまるように、わかりやすい字で、お書きください。

1-5. あなたの、出身都道府県をお答えください。

福 岡

1. 最初に、あなたご自身についてお聞きします。

1-1. あなたの、性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

1-2. あなたの、年齢をお答えください。

(2008(平成20)年4月1日時点での年齢をお答えください。)

	歳
--	---

1-3. あなたの、大学への入学年をお答えください。

1. 2007(平成19)年4月 2. 2006(平成18)年4月 3. 2005(平成17)年4月

4. 2004(平成16)年4月

5. 2003(平成15)年4月以前 → 何年ですか? 西暦

--	--	--	--

年4月

1-4. あなたの、出身都道府県をお答えください。

--

1-5. あなたの、住居についてお答えください。

1. 下宿(一人暮らし) 2. 寮 3. 自宅(親と同居) 4. その他

1-6. **2004(平成16)年に大学入学、あるいはそれ以前に大学入学された方**にお聞きします。
2008(平成20)年4月以降の進路について、お答えください。

1. 企業 2. 公務員 3. 大学院進学 4. 専門学校進学
5. 海外留学 6. アルバイト(卒業するが、正規雇用ではない。) 7. 留年 8. その他

1-7. **2005(平成17)年、2006(平成18)年、2007(平成19)年に大学入学された方**にお聞きします。大学卒業後の、希望進路をお答えください。

1. 企業 2. 公務員 3. 大学院進学 4. 専門学校進学
5. 海外留学 6. アルバイト(卒業するが、正規雇用ではない。) 7. 留年 8. その他

2. あなたの現金収入の状況についてお聞きします。過去1年間(2007(平成19)年1月から12月)を振り返ったときの、1ヶ月あたりの平均的な金額をお答えください。

2-1. 両親・親戚などからの仕送り、お小遣いの金額は、1ヶ月あたりだいたいどのくらいですか。

0. 0円 (仕送り、お小遣いをもらっていない)

1. 1~9,999円 2. 10,000~29,999円 3. 30,000~49,999円

4. 50,000~79,999円 5. 80,000~99,999円 6. 100,000~129,999円

7. 130,000~149,999円 8. 150,000~179,999円 9. 180,000~199,999円

10. 200,000円以上

2-2. アルバイトからの収入の金額は、1ヶ月あたりだいたいどのくらいですか。

0. 0円 (アルバイトをしていない)

1. 1~9,999円 2. 10,000~29,999円 3. 30,000~49,999円

4. 50,000~79,999円 5. 80,000~99,999円 6. 100,000~129,999円

7. 130,000~149,999円 8. 150,000~179,999円 9. 180,000~199,999円

10. 200,000円以上

2-3. 仕送り、お小遣い、アルバイトなどからの収入をすべて含めると、1ヶ月あたりのあなたの総収入は、だいたいどのくらいですか。

0. 0円

1. 1~9,999円 2. 10,000~29,999円 3. 30,000~49,999円

4. 50,000~79,999円 5. 80,000~99,999円 6. 100,000~129,999円

7. 130,000~149,999円 8. 150,000~179,999円 9. 180,000~199,999円

10. 200,000~249,999円 11. 250,000~299,999円 12. 300,000円以上

3. あなたの支出、消費行動の状況についてお聞きします。

上記1-5で **1.下宿、2.寮** にお住まいと回答された方は、3-1.から3-2. を回答してください。

3.自宅（親と同居）にお住まいと回答された方は、3-3.から3-4. を回答してください。

4.その他と回答された方は、ここまでです。アンケートへのご協力、ほんとうにありがとうございました。

3-1. **上記1-5で 1.下宿、2.寮** にお住まいと回答された方にお聞きします。

あなたが下宿・寮で利用している公共サービスなどの料金は、誰が支払っていますか。

（回答方法）

あなたへの仕送りやお小遣い、または、あなた自身が稼いだアルバイト代で支払った。（あなたの銀行口座などからの引き落とし、あるいは、あなたがコンビニなどで支払いの手続きを行った。） ⇒ 1に○をしてください。

親が支払った。（親の銀行口座などからの引き落とし、あるいは親がコンビニなどで支払いの手続きを行った。） ⇒ 2に○をしてください。

あなた以外、親以外の誰かが支払った。（親以外の銀行口座などからの引き落とし、あるいは親以外がコンビニなどで支払いの手続きを行った。）

⇒ 3に○をしてください。

該当するサービスなどを利用していない場合。⇒ 4に○をしてください。

表 3-1

誰が？	1. あなた	2. 親	3. その他	4. 利用していない
① 電気	1	2	3	4
② ガス	1	2	3	4
③ 水道	1	2	3	4
④ インターネット・ プロバイダ・サービス	1	2	3	4
⑤ 固定電話の通話料	1	2	3	4
⑥ <u>あなたの</u> 携帯電話の 通信・通話料	1	2	3	4
⑦ 家賃(寮費)	1	2	3	4

（注）表 3-1 に掲げる公共サービスなどの料金が家賃(寮費)に含まれている場合は、その家賃(寮費)を支払っている人の番号に○をしてください。

次の3-2も、**上記1-5で 1.下宿、2.寮 にお住まいと回答された方**にお聞きします。

3-2. **現在、あなたが下宿・寮で使用している製品**に関するお聞きします。表 3-2 にある①から⑮までの製品を、誰のお金で購入しましたか。

(回答方法)

あなたへの仕送りやお小遣い、または、あなた自身が稼いだアルバイト代で購入した。⇒ 1に○をしてください。

親が購入した。⇒ 2に○をしてください。

あなた以外、親以外の誰かが購入した。⇒ 3に○をしてください。
(親以外の誰かから譲ってもらった場合も、3に○をしてください。)

該当する製品が、はじめから下宿・寮の部屋に設置してある場合。
⇒ 4に○をしてください。

該当する製品を持っていない場合。⇒ 5に○をしてください。

表 3-2

製品 \ お金を支払った人など	1.あなた	2.親	3.その他	4. はじめから下宿・寮に設置してある	5. 持っていない
① 冷蔵庫	1	2	3	4	5
② 洗濯機	1	2	3	4	5
③ ルームエアコン	1	2	3	4	5
④ ブラウン管テレビ	1	2	3	4	5
⑤ 液晶テレビ	1	2	3	4	5
⑥ プラズマテレビ	1	2	3	4	5
⑦ その他のテレビ	1	2	3	4	5
⑧ DVDレコーダー	1	2	3	4	5
⑨ ビデオテープレコーダー	1	2	3	4	5
⑩ ハードディスク型レコーダー	1	2	3	4	5
⑪ デジタルカメラ	1	2	3	4	5
⑫ パソコン	1	2	3	4	5
⑬ 携帯電話(PHS含む)(本体)	1	2	3	4	5

	1.あなた	2.親	3.その他	4. はじめから 下宿・寮に設置 してある	5. 持っていない
⑭ 電気掃除機	1	2	3	4	5
⑮ 自動炊飯器	1	2	3	4	5
⑯ 電子レンジ (電子オープンレンジを 含む)	1	2	3	4	5
⑰ ステレオセット又は CD・MD ラジオカセット	1	2	3	4	5
⑱ 携帯型音楽プレーヤー (ipod など)	1	2	3	4	5
⑲ ゲーム機(据置タイプ、 PS3、Wii など)	1	2	3	4	5
⑳ 携帯型ゲーム機(PSP、 ニンテンドーDS など)	1	2	3	4	5

上記1-5で 1.下宿、2.寮 にお住まいと回答された方はここまでです。

アンケートへのご協力、ほんとうにありがとうございました。

3-3. 上記1-5で 3.自宅(親と同居)にお住まいと回答された方にお聞きます。

自宅の公共サービスなどの料金は、誰が支払っていますか。

(回答方法)

あなたへのお小遣い、または、あなた自身が稼いだアルバイト代で支払った。(あなたの銀行口座などからの引き落とし、あるいは、あなたがコンビニなどで支払いの手続きを行った。) ⇒ 1に○をしてください。

親が支払った。(親の銀行口座などからの引き落とし、あるいは親がコンビニなどで支払いの手続きを行った。) ⇒ 2に○をしてください。

あなた以外、親以外の誰かが支払った。(親以外の銀行口座などからの引き落とし、あるいは親以外がコンビニなどで支払いの手続きを行った。)

⇒ 3に○をしてください。

該当するサービスなどを利用していない場合。⇒ 4に○をしてください。

表 3-3

誰が？	1. あなた	2. 親	3. その他	4. 利用して いない
公共サービスなど				
① 電気	1	2	3	4
② ガス	1	2	3	4
③ 水道	1	2	3	4
⑧ インターネット・ プロバイダ・サービス	1	2	3	4
⑨ 固定電話の通話料	1	2	3	4
⑩ あなたの携帯電話の 通信・通話料	1	2	3	4
⑪ 家賃 (持家の場合は4に○)	1	2	3	4

(注) 表 3-1 に掲げる公共サービスなどの料金が家賃(寮費)に含まれている場合は、その家賃(寮費)を支払っている人の番号に○をしてください。

次の 3-4.も、上記 1-5 で 3.自宅(親と同居)にお住まいと回答された方にお聞きします。

3-4. 3-4-1.と 3-4-2.は、いずれも表 3-4 に回答してください。

3-4-1. 現在、あなたが自宅で使用している製品についてお聞きします。①から⑳それぞれの製品を、同居している家族みんなは誰のものだと考えていると思われますか。

「これはあなたのものだ(あなたに所有権がある)」 ⇒ 「はい」に○をしてください。

「家族みんなのものだ(家族の共有財産である)」 ⇒ 「いいえ」に○をしてください。

また、自宅にない製品があれば、5.持っていない に○をしてください。

3-4-2. 3-4-1.で「はい」に○をした製品について、誰のお金で購入しましたか。該当する番号に○を付けてください。

(回答方法)

あなたへのお小遣い、または、あなた自身が稼いだアルバイト代で購入した。

⇒ 2 に○をしてください。

親が購入した。⇒ 3 に○をしてください。

(親から譲ってもらった場合、3 に○をしてください。)

あなた以外、親以外の誰かが購入した。⇒ 4 に○をしてください。

(親以外の誰かから譲ってもらった場合、4 に○をしてください。)

(回答欄は次のページです)

表 3-4

製品	お金を支払った人 など	1. あなたのものと家族 みんなが 思っている	2. あなた	3. 親	4. その他	5. 持っていない
① 冷蔵庫		はい いいえ	2	3	4	5
② 洗濯機		はい いいえ	2	3	4	5
③ ルームエアコン		はい いいえ	2	3	4	5
④ ブラウン管テレビ		はい いいえ	2	3	4	5
⑤ 液晶テレビ		はい いいえ	2	3	4	5
⑥ プラズマテレビ		はい いいえ	2	3	4	5
⑦ その他のテレビ		はい いいえ	2	3	4	5
⑧ DVD レコーダー		はい いいえ	2	3	4	5
⑨ ビデオテープ レコーダー		はい いいえ	2	3	4	5
⑩ ハードディスク型 レコーダー		はい いいえ	2	3	4	5
⑪ デジタルカメラ		はい いいえ	2	3	4	5
⑫ パソコン		はい いいえ	2	3	4	5
⑬ 携帯電話 (PHS 含む) (本体)		はい いいえ	2	3	4	5
⑭ 電気掃除機		はい いいえ	2	3	4	5
⑮ 自動炊飯器		はい いいえ	2	3	4	5
⑯ 電子レンジ (電子オープンレンジを 含む)		はい いいえ	2	3	4	5
⑰ ステレオセット又は CD・MD ラジオカセット		はい いいえ	2	3	4	5
⑱ 携帯型音楽プレーヤー (ipod など)		はい いいえ	2	3	4	5
⑲ ゲーム機 (据置タイプ、 PS3、Wii など)		はい いいえ	2	3	4	5
⑳ 携帯型ゲーム機 (PSP、 ニンテンドーDS など)		はい いいえ	2	3	4	5

上記 1-5 で 3. 自宅 (親と同居) にお住まいと回答された方はここまでです。

アンケートへのご協力、ほんとうにありがとうございました。

(以上)